

事業評価シート

番号 0440060 - 001

【1.基本情報】

事業名	施設整備				
担当部名	行政部	担当課名	競輪事業課		
総合計画政策				政策コード	- - -
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	昭和24年度～	年度	根拠法令 関連計画※	自転車競技法	

【2.事業概要】

事業の目的	安定的な競輪開催や新規顧客獲得及び車券売上向上のため快適な環境に整備する				
事業の内容	競輪場施設の整備工事等				
事業の対象	何を	競輪場施設			
	誰に (対象者・対象者数)	競輪場来場者(H29 本場開催・場外開催合わせ586,150人)			
	どのくらい (具体的 数値で)	事業費 127,277千円			
平成29年度 (実施内容)	サイクル会館熱源空調機取替工事 42,140千円 競走路塗布工事 25,477千円 南トイレ改築工事 22,996千円 ほか				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	4,425	150	4,560	150	4,755	150
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	4,425	150	4,560	150	4,755	150

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		78,216	423,307	127,277
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	工事請負費	76,104	46,660	107,121
	委託料	1,599	374,760	0
	備品購入費	513	1,887	6,106
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		78,216	423,307	127,277

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	82,641	427,867	132,032

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	82,641	427,867	132,032
計(F)	82,641	427,867	132,032

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	0	0	0

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	競輪場来場者	競輪場来場者	競輪場来場者
受益者数	556,490	500,296	586,150
受益者負担額(千円)	入場料・車券売上ほか	入場料・車券売上ほか	入場料・車券売上ほか
受益者負担率(%)	-	-	-
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数(本場開催・場外開催合わせて)	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	323	335	316
実績値	335	316	341

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	営業活動収支	単位	千円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	389,484	270,085	117,015

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	施設整備は将来的にも競輪事業が安定した収益を確保し、事業継続を可能とするため実施するものである。 施設整備は原則として市が実施するものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	競輪ファンの高齢化、レジャーの多様化など厳しい状況下において、29年度は昨年度に比べ一日当たり来場者数を上回った。 施設整備は原則として市が実施するものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	安定的な競輪開催のため施設改修や、顧客満足度向上のため快適な施設で競輪を楽しめるための施設整備は必要不可欠であり、営業活動収支は昨年度を下回る結果となったが、一般会計へ3億円を繰り出し市財政に寄与貢献することができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	車券売上による利益を施設整備として還元しており公平性は保たれている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	

事業評価シート

番号 0440060 - 002

【1.基本情報】

事業名	日本競輪選手会岐阜支部事業補助				
担当部名	行政部	担当課名	競輪事業課		
総合計画政策				政策コード	- - -
実施方法	直営	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和57年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市競輪事業特別会計補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	日本競輪選手会岐阜支部所属選手の資質向上、競輪の健全発展と公正安全な競技の実施及び事故防止を図る				
事業の内容	技能訓練・指導、競輪事業の普及啓発、お客様サービスなどの選手活動に対する事業補助				
事業の対象	何を	事業活動に要する経費の一部			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜支部所属競輪選手 65名(平成29年度)			
	どのくらい (具体的 数値で)	一人当たり20,500円として補助			
平成29年度 (実施内容)	65名分 1,333千円				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	89	3	91	3	95	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	89	3	91	3	95	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		1,394	1,312	1,333
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	補助金	1,394	1,312	1,333
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		1,394	1,312	1,333

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,483	1,403	1,428

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	1,483	1,403	1,428
計(F)	1,483	1,403	1,428

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	0	0	0

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜支部所属選手	岐阜支部所属選手	岐阜支部所属選手
受益者数	68	64	65
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	3	2

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	特別競輪出場選手数(延べ)	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	25	25	25
実績値	26	17	22

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	選手一人当たり平均獲得賞金額	単位	千円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	9,480	9,911	9,911
実績値	10,220	10,412	9,960

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	競輪ファン心理としては地元選手を応援したいため、選手強化により岐阜競輪新規顧客の獲得や売上に効果が見込まれるため、選手の訓練事業や普及啓発事業補助は競輪事業活性化のために必要不可欠である 開催施行者が行うべきである
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	選手強化によって競輪事業が活性化し、お客様サービス及び売上が見込まれる 競輪事業の活性化策の一つであり、開催施行者が行うべきである
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	選手自身による厳しい自己研鑽にもより、選手レベルは維持されていると判断できる
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	選手強化によって競輪事業の活性化につながり、お客様サービス及び売向上策のひとつであり適正である
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	

事業評価シート

番号 0440060 _ 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜県暴力追放推進センター補助				
担当部名	行政部	担当課名	競輪事業課		
総合計画政策				政策コード	- - -
実施方法	直営	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市
実施期間	平成5 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市競輪事業特別会計補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	「暴力のない日本一住みよいふるさと岐阜県づくり」に寄与する	
事業の内容	対象団体に対する事業補助	
事業の対象	何を	対象団体の広報啓発事業の一部
	誰に (対象者・対象者数)	(公財)岐阜県暴力追放推進センター
	どのくらい (具体的 数値で)	500,000円
平成29年度 (実施内容)	補助金交付 500千円	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	89	3	91	3	95	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	89	3	91	3	95	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		500	500	500
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	補助金	500	500	500
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		500	500	500

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	589	591	595

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	589	591	595
計(F)	589	591	595

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	0	0	0

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	県民・県内事業者(競輪場来場者)	県民・県内事業者(競輪場来場者)	県民・県内事業者(競輪場来場者)
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	-	-	-

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	広報啓発	単位	部
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	機関紙4,000部、カレンダー6,500部	機関紙4,000部、カレンダー6,500部	機関紙4,000部、カレンダー6,500部
実績値	機関紙4,000部、カレンダー6,500部	機関紙4,000部、カレンダー6,500部	機関紙4,000部、カレンダー6,500部

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜競輪場周辺地域の安全(競輪場へ入場した暴力団・ノミ屋)	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	競輪の公正と安全を確保するため、入場者の整理、競輪に関する犯罪や不正防止のため、暴力団・ノミ屋等の追放対策は必要である。 競輪場内の取り締まりは競輪施行者が行うものである
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	競輪場からの暴力団・ノミ屋等の追放対策は岐阜競輪開催執務委員長ほか開催執務委員によって自衛警備を組織し任務にあたっており、暴力追放推進センターへの補助効果は低い
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	低	事業補助による競輪場周辺地域の安全性向上の効果が見えにくい
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	補助対象団体の活動内容から見て、競輪事業特別会計から同団体への直接補助ではなく、一般会計からの補助を検討すべきと考える
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善	

事業評価シート

番号 0440060 _ 004

【1.基本情報】

事業名	岐阜県防犯協会補助				
担当部名	行政部	担当課名	競輪事業課		
総合計画政策				政策コード	- - -
実施方法	直営	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市
実施期間	平成5 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市競輪事業特別会計補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	「安全で住みよいふるさと岐阜県づくり」に寄与する	
事業の内容	対象団体に対する事業補助	
事業の対象	何を	対象団体の地域安全対策事業の一部
	誰に (対象者・対象者数)	(公財)岐阜県防犯協会
	どのくらい (具体的 数値で)	500,000円
平成29年度 (実施内容)	補助金交付 500千円	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	89	3	91	3	95	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	89	3	91	3	95	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		500	500	500
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	補助金	500	500	500
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		500	500	500

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	589	591	595

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	589	591	595
計(F)	589	591	595

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	0	0	0

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	県民・県内事業者(競輪場来場者)	県民・県内事業者(競輪場来場者)	県民・県内事業者(競輪場来場者)
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	-	-	-

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	地域安全対策(広報啓発)	単位	部
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	広報紙40,000部、岐阜放送「こちら110番」毎週:月水金	広報紙34,400部、子ども110番下敷、岐阜放送「こちら110番」毎週:月水金	広報紙四半期ごと33,800部、子ども110番下敷、岐阜放送「こちら110番」毎週:月水金
実績値	広報紙40,000部、岐阜放送「こちら110番」毎週:月水金	広報紙34,400部、子ども110番下敷、岐阜放送「こちら110番」毎週:月水金	広報紙四半期ごと33,800部、子ども110番下敷、岐阜放送「こちら110番」毎週:月水金

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜競輪場周辺地域の安全(競輪場内犯罪件数)	単位	件
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	競輪場周辺地域の安全対策は、競輪事業に対する市民の理解を得るために必要である。 競輪開催時における周辺警備は競輪施行者が行うものである
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	競輪場周囲の安全対策としてガードマンを所要箇所に配置しており、防犯協会への補助効果は低い
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	低	競輪場周辺地域の安全性向上の効果が見えにくい
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	補助対象団体の活動内容から見て、競輪事業特別会計から同団体への直接補助ではなく、一般会計からの補助を検討すべきと考える
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善	